

1 教育目標

旧制中川中學校以来培われてきた本校の伝統を大切にしながら 80 周年を迎える本年度は、校訓と本校教育目標のもと、以下の重点目標を掲げ学校運営ならびに指導の充実を期する。

◇ 校訓 みが ひら はばた
「磨く 拓く 翔く」

(1) 本校の教育目標

確かな学力を備え、明朗闊達で、多様な人々と協働して学ぶことができる健全で品位ある人間の育成

(2) 本年度の課題、重点目標

ア 重点目標

『部活動の盛んな進学校』として今求められる本校教育の在り方を研究し、その充実・発展を図る。同時に、教育活動の成果・魅力を積極的に発信し、時代の要請と地域の信頼及び期待に応える。

イ 重点目標の実現及び直面する課題の解決に向けて以下のことに取り組む。

(7) 確かな学力を備え、主体的に学ぶ意欲のある人間の育成

a 「65分授業」を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業改善の研究・実践に努める。

- ・曜日変更の活用で授業時間数を平準化し、「65分授業」の更なる有効活用を図る
- ・生徒の学びの振り返りと観点別評価に資するような授業アンケート等について研究する
- ・授業研究の活性化に向けた授業公開等の方策を研究する

b 令和4年度から年次進行で実施される新教育課程は以下の観点を重視して作成に努める。また同時に、可能なことについては現在の教育課程においても実践に努める。

- ・社会のグローバル化、「Society 5.0」時代の到来を見据え、現在の松蔭生はもちろん、10年後の未来の松蔭生の期待に応える教育課程であること
- ・語学力及び語彙力・読解力の育成、幅広い教科科目を学ぶ意欲の涵養、教科横断的な学び、等を実現できる教育課程であること
- ・自ら課題を見つけ、自ら学び・考え・判断できる力を育成する学びのモデルとなる「総合的な探求の時間」を創ること
- ・今後の高大接続（大学入試等）の方向性を研究し、それに対応した教育課程であること

(i) 明朗で闊達、自立した人間の育成

a 「時を守り、場を整え、礼を重んじる態度を養う」（松蔭三題）の励行

b 自由と規律、自立を大切にした学校生活

- ・自己肯定感を育み、他者との協調を学び、松蔭高校への誇りを涵養すること
- ・学校行事や部活動等の特別活動を中心に自由の大切さと自律の必要性を知り、自立していく3年間であること

(ii) 生徒一人ひとりの進路意識を高め、進路希望の実現を図る教育の充実

a キャリア教育の推進とともに、学部説明会等の進路講座、進路面談、進路検討会等、生徒一人ひとりが自己の在り方・生き方を考える機会の充実を図る

b 生徒の進路実現支援のための効果的な方策を研究しその実践に努める

- ・変化の激しい大学入試制度についての情報を収集し分析する
- ・進路実現のために必要な学力を育む方策を研究し実践に努める

(e) 不登校等の学校不適應の未然防止に努めるとともに、教職員間の情報共有による早期対応、保護者との協力、SC等の専門家を含めた「チーム学校」の活用でその解決に努める。

(f) 教職員が健康的に教育活動に従事できるように県の指針に沿って在校時間の適正化を図る。そのために、多忙化解消に向けて業務の精選や見直し等を検討し、実践する。

(g) 松蔭高等学校部活動に係る活動方針を踏まえ、部活動において、ケガの予防に努めるとともに、活動内容の精選、下校時刻の順守、施設の点検と整備に心がけ、より一層の充実を図る

(h) 予定されている本館改修工事に際し、授業、部活動等学校生活への影響ができるだけ少なくなるような対応をする。

(i) 教育活動の様子や成果の積極的な発信により松蔭高校の社会性、公共性を高める。

a 同窓会「まつかけ会」と協力して80周年記念事業を実施し成功させる。記念事業の一環として、学校ホームページを一新しコンテンツの充実を図る

b 学校案内のリニューアルを行う